

米倉教公の月間為替市場見通し

7月号

ドル/円予想レンジ 105.50 - 113.30 円

『米 FOMC と日銀政策決定会合に注目！』

ドル/円の7月勝敗表

7月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	84.6	88.43	3.83	4.53%	陽線
1996年	109.74	106.83	-2.91	-2.65%	陰線
1997年	114.61	118.55	3.94	3.44%	陰線
1998年	138.75	144.75	6.00	4.32%	陽線
1999年	121.08	114.53	-6.55	-5.41%	陰線
2000年	106.07	109.32	3.25	3.06%	陽線
2001年	125.32	124.95	-0.37	-0.30%	陰線
2002年	119.68	119.8	0.12	0.10%	陽線
2003年	119.69	120.51	0.82	0.69%	陽線
2004年	108.78	111.36	2.58	2.37%	陽線
2005年	110.78	112.71	1.93	1.74%	陽線
2006年	114.32	114.63	0.31	0.27%	陽線
2007年	123.11	118.54	-4.57	-3.71%	陰線
2008年	106.19	107.89	1.70	1.60%	陽線
2009年	96.32	94.65	-1.67	-1.73%	陰線
2010年	88.42	86.48	-1.94	-2.19%	陰線
2011年	80.55	76.76	-3.79	-4.71%	陰線
2012年	79.85	78.11	-1.74	-2.18%	陰線
2013年	99.22	97.88	-1.34	-1.35%	陰線
2014年	101.31	102.79	1.48	1.46%	陽線
2015年	122.49	123.88	1.39	1.13%	陽線
平均			0.12	0.02%	11勝10敗

★7月は日米金融政策会合が注目

1995年以降の過去21年間のドル/円では、11勝10敗と陽線・陰線がほぼ五分五分となっている。一方、値幅での平均値は12銭の円安（変化率は平均で+0.02%）となっている。値幅の平均は小さいように見えるが、2007年以降1円以上の円高・円安となっている。特に2007年や2011年では、始値から終値で4.57円、3.79円も円高に進むなど、大きな動きとなった。直近の動きでは円高時の方が変動が激しい。7月は陽線の年と陰線の年が連続する特徴がある。2年連続の陽線引けとなっていることから、今年も陽線引けか？それには、日米の金融政策会合が焦点となる。米FOMC26-27日、日銀政策決定会合28-29日に開催される。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



★ドル/円月足では一旦の揺り戻し

一目均衡表月足チャートでは、英国のEU離脱決定を受けて一時98.98円まで下落したが、120ヵ月線が下値支持ラインとなり、ドル/円は一旦下げ止まった。ただ、上値には転換線の111.36円、基準線112.41円が上値抵抗ラインとなりそうだ。また、MACD（パラメータ：12、26、9）では、ゼロラインの上方からデットクロスを継続している。一方ストキャスティクスロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、売られ過ぎ域から再び%Kが下向きとなってきた。注意点は、トレンドに強みのあるMACDが下向きを維持していることから下落圧力が強い。7月の米FOMCの利上げや日銀の追加緩和が市場の注目点となっている。国内では7月10日の参議院選挙で自民党が議席を伸ばせるかどうか、今後のアベノミクスへの動きに影響を与えることで外国人が注視している。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

★まとめコメント

今年も既に半期が終了し7月から後半の半期が始まるが、今年は年初からリスク回避の流れが強まる年になっている。直近でもほとんどの市場参加者が英国はEUに残留すると見ていた国民投票で、予想外のEU離脱が決定し世界の市場は短期的に混乱に陥った。今後後半に向けても、英国のキャメロン首相がEU離脱の結果を受けて辞任し、次期首相の選挙が秋頃に実施される。また米大統領選なども不透明感が強い。さらに、中国経済の行方も不透明感が強く、人民元安が続いているなど再び中国リスクが高まる可能性も残る。国内では、7月10日の参院選の結果次第では、先行きのアベノミクスの動きに影響を与える可能性もあり、外国人投資家などの動向に影響を与えそうだ。

★7月の主なイベント

07月01日：香港・カナダ市場休場、**日銀短観**、**中国6月製造業・非製造業PMI**、**中国5月財新メディア製造業PMI**、**米6月ISM製造業景況指数**、スロバキア・EU議長国就任、アストロ=NYダウ・日経平均・為替変化日（5日まで）

07月02日：オーストラリア連邦議会選挙

07月04日：**NY市場休場（独立記念日）**

07月05日：RBA理事会、中国6月財新メディア非製造業PMI

07月06日：米5月貿易収支、米6月ISM非製造業景況指数、米FOMC議事録（6月14-15日分）

07月08日：日経平均オプションSQ、**米6月雇用統計**

07月10日：**日本参議院選挙**

07月13日：加中銀政策金利発表

07月14日：英MPC&議事録公表

07月15日：米6月小売売上高、米6月消費者物価指数

07月20日：アストロ=満月、

07月21日：ECB理事会、共和党全国大会終了（18日から）

07月27日：豪第2四半期消費者物価指数、英第2四半期GDP・速報、**米FOMC**

07月28日：民主党全国大会終了（25日から）

07月29日：**日銀金融政策決定会合及び日銀展望レポート発表**

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。